

地方公共団体・住民・大学等向けの研修等を実施

○ 内閣府では、地方公共団体をはじめ、地域づくり等に関わり、提案募集方式の活用可能性のある大学、住民、事業者等の様々な団体と協働し、研修やワークショップを実施している。

①研修(座学)

○ 地方分権改革の必要性や提案募集方式の活用方法等について、座学学習を行います。

○ 時間や内容は
オーダーメイドで
対応できます。
(30分～1.5時間が目安)



②研修(座学+グループワーク)

○ 座学後、専門分野が近い受講者に分かれ、グループワークを行います。

○ 普段の業務から支障事例を発見し、提案化する体験ができます。



③大学講師派遣(ワークショップ)

○ 地域の課題解決の手法の一つとして、提案募集方式の活用を考えるワークショップや、提案募集方式を学べる講義を受講できます。

<講師の派遣実績>

大正大学、宇都宮大学、
奈良女子大学、愛媛大学、
室蘭工業大学、小樽商科大学、
中京大学、福山市立大学、獨協大学

○ 法律や地方創生を学ぶ学生におススメ!



④住民参加ワークショップ

○ 地方公共団体の職員と地域住民が一体となり、地域の課題の解決を考えるワークショップを行います。

○ 住民の意見を国の制度改正に反映することができます。



⑤イベントでの講演等

○ 行政機関等が開催する各種イベントに参加し、提案募集方式の紹介や個別相談等を行うことができます。

○ 様々な分野とのコラボレーションにより、すそ野を拡大します。



⑥政策勉強会等とのコラボ

○ 地方公共団体の有志職員による勉強会等において、提案募集方式を活用した政策提案等に向けたワークショップ等を行います。

